

ほっととーく

HOTTALK

76



豊栄美沙緒会 会長
曾我 慶一さん
(上堀田 62歳)

豊栄美沙緒会 念願の「豊栄ざりがち唄」で 民謡民舞全国大会を制覇



上:「豊栄美沙緒会」の全国大会優勝メンバー。両国国技館にて。
右:「豊栄ざりがち唄」のフィニッシュ。衣装や演出も大事なポイントだ。



民謡民舞の市民グループ「豊栄美沙緒会」は、10月17日、両国国技館で行われた「民謡民舞全国大会緑旗戦」で、みごと優勝しました。その時の曲目「豊栄ざりがち唄」

の踊りで絶対優勝してやろうと、日々の猛練習のほかに、独自の「ざりがち唄」作りの研究を徹底的に行いました。「みんなでこれまでの優勝チームのビデオを、穴があくほど見て演出を研究しました。踊りの人数を増やして大きいステージでもダイナミックに見えるようにし、衣装も一新しました。踊る人数が増えれば増えるほどピタッとそろえるのは難しくなるんですが、今年これでダメだったら、もう何年やっても「ざりがち唄」では優勝できないんじゃないかと、みんな必死でした。そして、優勝。

「豊栄美沙緒会」の全国大会制覇は、平成8年、11年に続いて実は3度目。今では全国有数の強豪チームです。「平成8年の時の出し物は『出雲崎おけさ』、平成11年の時は『浜おけさ』でした。以前はずっと『豊栄ざりがち唄』で大会に出場していたのですが、成績が振るわず、やむを得ず市外の民謡でチャレンジしていったのです。2回全国優勝してからは、今度こそは地元の踊りで優勝しようと『豊栄ざりがち唄』一本に絞って、練習をしてきました。

「民謡は、それぞれの地方に伝わるもの。地元の唄で優勝できたことに意味があるんです。表彰式では、いつも『ほうえい美沙緒会』と呼ばれていましたが、今年は司会者に前もって何度も確認し、とうとう『よさか美沙緒会』と呼ばせました。しかし、今度は『優勝、豊栄ざりがち唄』と言われて、一同ステージ上で大笑いでしたが、豊栄美沙緒会は、来年、全国優勝した11のチームで争う「総理大臣杯争奪戦」に出場します。「総理大臣杯、ぜひとりたいたいですね。また、来年の3月23日には、中央公民館で20周年記念発表会をする予定です。皆さん、ぜひいらしてください。あなたも、日本一に輝いたふるさとの唄と踊りを見てみませんか。

「豊栄ざりがち唄」は、豊栄おどりとともに毎年9月5日の民謡祭で踊られている、おなじみの郷土民謡。「いい踊りですが、全国的な知名度がないことが問題です。例えば『佐渡おけさ』などは有名で、審査員や観客も良く知っています。しかし、知らない唄だと、印象に残りにくいし、いい演技なのかどうかよくわからず、審査員も最高得点をつけにくいんです」。そんな悪条件をはね返し、地元

ありがとうございます
○つくし保育園父母会(会長 樋口益子さん)が、社会福祉資金に15,175円を寄付。
○社交ダンスサークルのD・Cアレマーナ(代表 安部和恵さん)とスラウヴァ(代表 鈴木 鴻輔さん)が、社会福祉資金に9,142円を寄付。
○金子トミエさん(法花鳥屋)が、社会福祉資金に20,000円を寄付。

「宇野雪村賞」全国書道展に入賞

藤田さんと鈴木さんは、第3回宇野雪村賞全国展に出品し、主催地の兵庫県浜坂町の町長賞を受賞しました。

宇野氏は、豊栄出身の弦巻松蔭氏と同じく上田桑鳩(そうきゆう)氏を師とした方です。



学生の部 鈴木 綾さん
新潟商業高校2年(東栄町東)
一般の部 藤田 清明さん
(木崎)

通信

WAKKESHO

わっけしよ...豊栄の方で若い人



あいざわ すずむ
藍澤 晋さん(新潟市)

勤め始めて2年目、今は5年3組の担任をしています。

先生になって一番感じているのは、子どもがものすごく素直だということ。授業中、わかりにくいところがあると「先生わかんない〜」とつっこんだり、ほめてあげるとニコニコしてがぜんやる気をみなぎらせたり。僕が間違ったときなんか、「先生間違ってるう〜!」とクラス中で大合唱ですね(笑)。

僕、テスト問題やワークシートを作るのが好きなんです。よくやるのが、それらにクラスの子を登場させる手法。例えば、「すすむさんが1コ100円のりんご

を5個買いました…」など。とっつきにくい問題が、少しでも子どもたちの身近なものになれば、と思っています。

僕はまだまだ未熟ですが、できるだけ子どもと一緒に過ごし、子どもたちに対して壁を作らない先生でいたい、と思っています。昼休みはだいたい子どもたちと遊んでいて、今は晴れたらサッカー、雨が降ったら体育館で「赤おに」という鬼ごっこをしたりしています。時にはスーツのまま追いかけてます(笑)。

いつまでも、子どもたちと同じ目の高さで、子どもたちの気持ちができる先生でありたいですね。

※このコーナーでは、市内の事務所に勤務して2~3年くらいの新人さんを募集中です。

俳句 市民文芸

秋晴れや烏賊がするめに乾く佐渡	高森新田 阿部 美泉
新米を粥に炊きたる母の膳	東栄町 鈴木 敏郎
さらさらと右掌左掌今年米	柳 原 志田さたを
湯気ほのと新米の香を供へけり	尾 山 江田 豊子
暴走の輩に似たる椋の群	川 西 坂井 待月
百日の眠りに入る冬田かな	下土地亀 田辺 麦南
公園の濡れしベンチの冬めけり	川 西 坂部ふみ尾
顔洗ふ日ごとに水の冬めきぬ	尾 山 藤田 松風
主去りて荒れたる庭に花八ツ手	東栄町 会田 修
すぐ移る日さしのなかの花八ツ手	長戸 呂 高橋 松月

スポット

展示

高橋 規之さん (33歳 新潟市)



「スノーマン」

この作品は、写団「無名塾」で、山北町へ撮影会に行ったときに撮影した写真です。
人が手をかけ、作った雪だるまに口ウソクの火をともしという、雪国の暖かさを感じてシャッターを押しました。
「湯思い」をテーマに、昔の越後平野の原風景が残る福島潟を撮っています。いずれは、写真集を作り、個展を開きたいですね。

ごめいふくをお祈りします

- | | | |
|--------|-----|----|
| 高橋 亥太郎 | 79歳 | 内島 |
| 佐々木 尚 | 83歳 | 新見 |
| 本間 トシエ | 85歳 | 柳原 |
| 市村 福治 | 87歳 | 大月 |
| 金井キタミ | 87歳 | 浦原 |
| 内田佳代子 | 59歳 | 柳原 |
| 高橋エツ子 | 67歳 | 長戸 |
| 小林 トイ | 90歳 | 稲荷 |
| 齋藤 誠一 | 92歳 | 川西 |
| 加藤ヨシ子 | 76歳 | 里飯 |
| 首藤シノ | 66歳 | 下野 |
| 大脇 トミ | 70歳 | 相他 |
| 橋本フミヨ | 80歳 | 上野 |
| 高橋 榮正 | 87歳 | 上野 |
| 金子セツ子 | 79歳 | 法花 |
| 金子 博 | 76歳 | 法花 |
| 津軽イワノ | 87歳 | 上野 |
| 石田 静夫 | 57歳 | 上野 |
| 磯辺せつ子 | 52歳 | 栄 |
| 君 ミキ子 | 63歳 | 栄 |
| 中村ヨシイ | 74歳 | 下野 |
| 本間 二郎 | 81歳 | 早通 |
| 横山 勲 | 87歳 | 早通 |
| 渡邊 幸雄 | 80歳 | 早通 |
| 横山 幸雄 | 81歳 | 早通 |
| 寺尾 昭吾 | 73歳 | 早通 |
| 高橋ハルイ | 81歳 | 早通 |
| 工藤 晴輝 | 66歳 | 早通 |
| 木村 文子 | 81歳 | 早通 |
| 瀧澤 喜八 | 56歳 | 早通 |
| 中村 豊 | 86歳 | 早通 |

※ここに掲載したのは11月中に死亡届けのあったものです。掲載について都合の悪い場合は、市民生活課市民係へお申し出ください。なお敬称は省略します。

(24ページの答え) 大きい足跡は、31歳女性、小さい足跡は、4歳の女の子です。2人は親子です。母の生まれは、新潟県安塚町、幅広の農村型の足です。土踏まずが広く立派な足形です。